

# ● 認知症治療薬 適応について

2015.06.13 第59回県連薬事委員会

分類	薬剤名	重症度		
		軽度	中等度	高度
コリンエステラーゼ阻害薬	ドネペジル錠	アルツハイマー型認知症及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制		
	レミニール錠	軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制		
	リバスタッチパッチ	軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制		
NMDA受容体拮抗薬	メマリー錠	中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制		

# ● 認知症治療薬 用法用量について

薬剤名	用法	経過週数 (週目)															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ドネペジル錠	分1						4週間以上経過後 症状に応じて10mgまで増量可										
		3mg		5mg													
レミニール錠	分2									4週間以上経過後 症状に応じて24mg/day <sup>※③</sup> まで増量可							
		8mg/day <sup>※③</sup>				16mg/day <sup>※③</sup>											
リバスタッチ パッチ	分1					9mg				13.5mg				18mg			
		4.5mg															
メマリー錠	分1				20mg <sup>※⑤</sup> (BPSDに対しての処方であれば10mg程度でも効果あり)												
		5mg	10mg	15mg <sup>※⑤</sup>													

※③推定CCr 50未満では50～75%に減量する（増量後も同様）

※⑤推定Ccr30未満では維持量 10mg分1

## ●認知症治療薬の使用について

★原則、**開始量では維持せず、**  
副作用症状が出た場合は**他剤へ切り替えるか、中止**を検討する。

★コリンエステラーゼ阻害剤開始・増量時における**嘔吐・嘔気には**  
**ガスマチン錠**あるいはD2ブロッカー（ドンペリドン錠）を併用する。  
**併用は1～2週間程度**とし、副作用が続く場合は中止・減量を検討する。  
※D2ブロッカーは錐体外路障害の副作用発現リスクがあり注意必要。

★リバスタッチパッチによる**皮膚症状の副作用に対しては、**  
**ヒルドイドソフト軟膏**等の保湿剤を併用する。  
併用し続けてOK。

※ヒルドイドソフト軟膏の使用量の目安：1週間に1本（25g）を使い切る